

スクリプト内容について

UC-win/Road には、スクリプトという自動プレゼンテーションの機能があります。提出データには、メインのスクリプト 30 秒を作成し、CM のように作品の主旨がわかるようにして下さい。以下のようなポイントを押さえて、効果的なスクリプトを作成して下さい。

- ・一番伝えたいメッセージは何かを明確に
- ・コンセプトを端的に表すシーンとキャッチコピー
- ・シーンとキャプションを一致させる
- ・全体と部分の端的で適切な説明
- ・独自の検討内容の表現
- ・効果的な視点移動

また、先に絵コンテ・字コンテを作成して、必要なデータを作り込むと手戻りが少ないです。

コンテ例)

カット	秒	シーン	内容説明	キャプション、音声
1	0:00	オープニング ・コンセプトの説明	メインとなる構造物や最も見せたいシーンやコンセプトを端的に示すシーンをフライスルー。 作品タイトルを中央に表示。 コンセプトを一言で表現するキャッチコピーを表示。	(作品タイトル) (キャッチコピー) 画面中央に配置。
2	0:08	全体構成	フライスルーや全体がわかる視点で計画の全体構成を説明。 データが粗いところは見えないようにする。	例： 「都市の軸となる全体計画」 「将来にわたっての配置計画」 画面下部や上部に配置。
3	0:12	部分計画	部分ごとの計画を説明。 主に人の視線、ウォークスルーで数シーンをテンポ良く見せる。 群衆や交通流を発生させておくと効果的。	例： 「将来的に高層建物を計画」 「極限まで細くした柱」 画面下部や上部に配置。
4	0:16	検討内容	交通生成や日照、避難解析など、シミュレーションで検討した内容を表示して説明。 他のアプリケーションでの検討した内容も、VR でできるだけ表現する。	例： 「避難解析で効果的な出入り口を配置」 「動的構造解析による最適設計」 画面下部や上部に配置。
5	0:23 0:30 終了	効果の説明 ・エンディング	この計画による効果や影響、利点などを端的に表現。コンセプトが帰着するようなストーリーやメッセージ。 視点移動と、表示するものを合わせ、コンセプトとリンクしたシーンを見せる。	例： 「都市のシンボルとして住民や観光客にアピール」 「都市の軸線になり、利便性が高まる」 「将来的にこの地域の発展に寄与する」 画面中央に配置。